

パネルディスカッション6

「上皮下腫瘍(GIST・NETなど)の病態・診断・治療」

司会 上堂 文也 (大阪国際がんセンター消化管内科)

平澤 俊明 (がん研有明病院上部消化管内科)

消化管上皮下腫瘍には、多種多様な疾患が含まれ、それぞれに特有の診断と治療法が要求される。GISTにおけるEFTRやNETに対するPRRTといった新しい治療法が導入され、臨床の現場ではこれらの進展に大きな期待が寄せられている。本セッションでは、上皮下腫瘍の診断、病態、そして治療に関する最新の研究成果と臨床経験を共有し、これらの知見が今後の臨床にどのように応用されるかを議論したい。